



2020年5月20日

各 位

会 社 名 ケミプロ化成株式会社  
 代 表 者 名 代表取締役社長 兼 俊 寿 志  
 (コード：4960 東証第2部)  
 問 合 せ 先 執行役員社長室長 竹 内 亨  
 (TEL:078-393-2535)

## 株主提案に関する書面受領および当該株主提案に対する当社取締役会意見に関するお知らせ

当社は、当社株主より2020年6月26日開催予定の当社第39期定時株主総会における議案について株主提案（以下、本提案）を行う旨の2020年4月22日付書面を受領いただきましたが、本日開催の取締役会において本提案について反対することを決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 提案株主

株主名：株式会社ケアシステムズ

株式会社ケアシステムズは、当社代表取締役会長福岡直彦の親族である福岡靖介氏が株式を100%保有する資産管理会社であるとの報告を受けております。

名 称	株式会社ケアシステムズ
所 在 地	東京都足立区梅田5丁目26番9号
代表者の役職・氏名	古川 靖
事 業 内 容	経営コンサルタント業務、不動産、有価証券等の取扱い及び保有等
資 本 金	1,000万円

(当社が2018年12月19日に開示した「主要株主である筆頭株主の異動（予定）及び株式会社ケアシステムズによる当社株式の取得に関するお知らせ」をご参照下さい。)

#### 2. 本提案の内容

- ・株主総会の目的事項
  - (1) 取締役7名選任の件
  - (2) 監査役4名選任の件
- ・議案の要領及び提案理由
 

(詳細は、参考資料①として本提案書面の該当記載をそのまま掲載しております。)

  - (1) 以下の7名を一括して当社の取締役として選任すること（新任候補者：          ）  
 福岡直彦 日置廣幸 河井典生 赤瀬寿 寶田健太郎 相田昌宏 遠山和宏
  - (2) 以下の4名を一括して当社の監査役として選任すること  
 清水俊造 常本良治 藤田健 橋詰克己

#### 3. 当社取締役会が本提案に反対する理由

- ① 本提案には、企業価値向上についての具体的記載がなく、また本提案の内容で企業価値向上が望めるとは考えられない。  
 一方、現行体制では企業価値向上へ向けた実績を積み上げている。
  - ・現在の役員構成すなわち経営体制は、企業価値及び株主共通の利益に資するものである。

当社は、長期にわたり当社の業務に携わることにより当社業務に精通し、必要且つ有用な知見を有しつつ誠実・真摯に業務をする者を技術、生産、営業、財務等にバランスをとって配置した社内の取締役と当社の業務を理解しつつ大所高所から厳しくも暖かく見守る専門性の高い知見を有する社外取締役で取締役会を構成しております。

このような現行体制で、以下のとおり当社の企業価値及び株主利益の向上へ向けた実績を積み上げております。

- ① 組織上の上下・部門にこだわらない積極的なコミュニケーション（当社では、これを全方向マトリックスコミュニケーションと呼んでおります。）とボトムアップを基本精神として浸透させ、企業としての最大のパフォーマンスを実現できる体制を構築しております。
- ② 2018 年度より、当社初の3ヶ年中期経営計画【ReBorn（再生）プラン】を稼働させ成果をおさめております。（当社初の中期経営計画であることから詳細は非開示とさせていただいておりますが、その概略は、参考資料②をご参照下さい。なお、2021 年度からの次期中期経営計画は詳細を開示予定です。）
- ③ 全方向マトリックスコミュニケーションとボトムアップ精神浸透で、他部門・各部門間の連携強化が実現し、若手の能力や組織の透明性も高まり、販売拡大（念願の売上 100 億円突破）や新規製品開発等に成果が出ております。中期経営計画等の成果から、売上・利益ともに改善・上昇傾向にあります。

第 38 期（2019 年 3 月期）と第 39 期（2020 年 3 月期）対比

（単位：百万円）	第 38 期	第 39 期	増 減
売上高	9,373	10,596	+1,222
営業利益	326	386	+60
経常利益	79	161	+82
当期純利益	63	90	+27
配当金額	3 円/株	3.5 円/株	+0.5 円/株

- ・本提案には提案役員構成による企業価値、株主利益の向上策が示されていない。

本提案の理由は、いずれも個別の役員に対する抽象的な非難に終始するだけのもので、当社取締役会においてはそれぞれの非難は誹謗中傷の類であり、いずれも合理的なものではないということで意見は一致しております。

また、本提案理由はこのような合理性を欠く非難以外に、提案する役員構成によりどのように企業価値、株主利益を向上させるかについて、具体的な戦略方針はおろか抽象的なものすら示されていません。

- ② 本提案では、現代表取締役会長の福岡直彦氏の意向に基づき、かつ公益財団法人福岡直彦記念財団（以下、同財団）が賛同すると記載されているが、福岡直彦氏からも同財団からも株主提案は提出されていない。

後掲③のとおり同財団が本提案に賛同した事実がない中、本提案記載事項の信憑性に疑義を持たざるを得ないものであります。

なお、現行の当社役員構成は、代表取締役会長福岡直彦も出席した取締役会において全会一致で決定したものであります。

③ 同財団が本提案に賛同した事実がない。

同財団事務局に確認したところ、「同財団の定款では、株主権の行使には理事会決議が必要となっているが株主権行使に関わる理事会が開催された事実はなく、重大な法令および定款違反の可能性のあることから現在調査中である。」旨の回答書を受領しております。

また、このような記載は第1、2位の株主が本提案に賛同していると他の株主が誤認するようにミスリードしようとするものであります。

\*なお、本提案株主により2020年5月18日付けにて本提案記載の「同財団が賛同する議案」の記載を削除する旨の訂正がなされております。

④ 本提案で取締役として不適格とされている現任取締役3名は、十二分に職責を果たしており、企業価値向上に向けた実績をそれぞれが積み上げている。

代表取締役社長兼俊寿志は、代表取締役会長福岡直彦が高齢で必ずしもが体調が安定しない中、代表取締役会長福岡直彦の提案により、取締役会の指名を受けて4年間代表取締役（2019年4月からは社長）として当社の経営を牽引し経営改革・事業改革を推進し、成果をおさめております。

社外取締役柳雅二は、証券市場のみならずコンプライアンス問題にも造詣が深く、化学業界等への資本市場関連の豊富な営業経験も踏まえ、様々な切り口で社内経営陣に独立した客観的視点から企業価値向上に向けた提言・助言を継続して行っております。

社外取締役江間清二は、防衛事務次官のキャリアを持ち、高い見識と国内でもトップレベルの組織運営力や危機管理能力、加えて豊富な人脈を保有しており、様々な切り口で社内経営陣に独立した客観的視点から企業価値向上に向けた提言・助言を継続して行っております。

⑤ 本提案で再任の対象となっている現任取締役、現任監査役が承諾していない提案であり、本提案の経営体制になれば、業務遂行に多大なる混乱が生じることは確実である。

再任の対象となっている現任取締役のうち河井典生と赤瀬寿、現任監査役のうち清水俊造と常本良治および藤田健は、本提案に反対表明をしており本提案での取締役・監査役への就任は拒絶しております。結果、本提案の取締役構成では、当社事業の業務執行に携わってきた取締役が1名もいないことになり、業務遂行に多大なる混乱が生じることは確実です。

なお、当社が本日付で開示した「代表取締役の異動および取締役ならびに監査役選任に関するお知らせ」記載の通り、本提案で監査役候補となっている橋詰克己は、現任期満了で退任する予定であり、本提案により選任された場合であっても監査役に就任することはない旨表明しております。

⑥ 本提案の取締役候補のうち2名は、次の通り当社の取締役としてはふさわしくない。

再任取締役候補となっている代表取締役会長福岡直彦は、取締役としての業務を担うには極めて高齢（93歳）であります。なお、当社が本日付で開示した「代表取締役の異動および取締役ならびに監査役選任に関するお知らせ」記載の通り、現任期満了で退任予定であり今後は、名誉会長として当社経営等への助言等を期待しております。

取締役候補となっている日置廣幸氏は、上場企業での役員経歴等がありませんし、他にも当社の取締役の任を適切に果たすことができると判断しうる経験等の材料は確認できませんでした。

⑦ 本提案の社外取締役候補のうち2名は、当社の取締役の任を適切に果たすことができると判断しうる経験等の材料は確認できない上に、本提案株主の使用人である。

本提案の社外取締役候補のうち2名は、当社の取締役の任を適切に果たすことができると判断しうる経験等の材料は確認できません。

また、提案株主である株式会社ケアシステムズの使用人であり、企業価値向上や株主全体の利益のための経営判断がなされず、提案株主の意向に沿って当社の経営判断にかかわることへの危惧を持ちます。

加えて、相田昌宏氏は2001年9月に当社を取締役任期途中で辞任し、その後19年近く当社と同業種での勤務歴はありません。

**⑧ 本提案は、企業価値・株主利益の向上といった正当な理由によるものではないとの疑いが否定できないこと、また提案理由となっていない点がある。**

本提案中の取締役候補者中の複数名が本提案株主である株式会社ケアシステムズと何らかの関係を有する者（支配株主の親族または使用人等）となっており、本提案が当社全体としての企業価値、全ての株主の共通の利益を図るという正当な理由による提案ではないとの疑いを払拭することはできません。

また、本提案での現任取締役に対する提案理由で「適切な経営方針が出されれば、業務執行取締役としてケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。」との表現がありますが、取締役はそもそも経営方針を検討し決定することが最大の職務であり、そのうえで一定の業務執行を委嘱される場合もあるものであります。本提案は、取締役に負託される事柄を理解しているものと思えず、理解に苦しむところです。

以上

「本提案の内容」：提案株主から提出された本提案書面の該当記載をそのまま掲載しております。

\* 原文には数か所、脱字と思われる箇所がありますが原文のまま掲載しております。

\* なお、本提案株主により 2020 年 5 月 18 日付けにて本提案のイ(ア)①記載の「同財団が賛同する議案」を削除する旨の訂正がなされております。

## 1. 株主総会の目的事項

- (1) 取締役 7 名選任の件
- (2) 監査役 4 名選任の件

## 2. 議案の要領及び提案理由

- (1) 取締役 7 名選任の件

### ア 議案の要領

以下の取締役候補者 7 名を、一括して会社の取締役として選任することを提案する。

- ① 氏名 福岡 直彦  
生年月日 1927年2月26日生  
略歴・地位・担当  
1983年10月 ケミプロ化成株式会社入社  
1985年5月 ケミプロ化成株式会社代表取締役社長  
2019年4月 ケミプロ化成株式会社代表取締役会長（現任）  
所有株式数 50,700株  
重要な兼職の状況 なし  
特別利害関係 なし
- ② 氏名 日置 廣幸  
生年月日 1948年11月20日生  
略歴・地位・担当  
1979年8月 シプロ化成株式会社入社  
1991年3月 シプロ化成株式会社取締役  
2000年12月 シプロ化成株式会社専務取締役  
2017年10月 シプロ化成株式会社同社顧問  
2018年10月 シプロ化成株式会社同社退職  
所有株式数 4,000株  
特別利害関係 なし
- ③ 氏名 河井 典生  
生年月日 1965年5月16日生  
略歴・地位・担当  
1989年3月 ケミプロ化成株式会社入社  
2011年6月 ケミプロ化成株式会社取締役  
2018年6月 ケミプロ化成株式会社常務取締役営業本部長  
兼有機ELビジネス推進本部付営業管掌兼購買部長（現任）  
所有株式数 35,000株  
特別利害関係 なし
- ④ 氏名 赤瀬 寿  
生年月日 1961年9月26日生  
略歴・地位・担当  
1984年3月 I S C 化学株式会社（現ケミプロ化成株式会社明石工場）入社  
1997年8月 ケミプロ化成株式会社転籍  
2018年6月 ケミプロ化成株式会社取締役生産本部長兼相生工場長兼明石工場長（現任）  
所有株式数 3,000株  
特別利害関係 なし
- ⑤ 氏名 寶田 健太郎  
(社外取締役候補者)  
生年月日 1974年6月29日生  
略歴・地位・担当  
2002年1月 税理士登録  
2002年7月 宝田税務会計事務所（現宝田・寿原会計事務所）設立 代表（現任）  
2006年8月 スターライトコンサルティング株式会社設立 代表取締役（現任）

2010年8月	株式会社コスメックス（現 MDV トライアル株式会社）社外監査役（現任）
2012年4月	アント・キャピタル・パートナーズ株式会社社外監査役（現任）
2017年4月	ACANext株式会社社外監査役（現任）
2018年6月	ケミプロ化成株式会社取締役（現任）
所有株式数	なし
重要な兼職の状況	宝田・寿原会計事務所代表、スターライトコンサルティング株式会社代表取締役、MDV トライアル株式会社社外監査役、アント・キャピタル・パートナーズ株式会社社外監査役、ACANext株式会社社外監査役
社外取締役在任年数	2年（本株主総会終結時）

⑥ 氏名 相田 昌宏  
 (社外取締役候補者)

生年月日 1943年7月18日

略歴・地位・担当

1992年5月	ケミプロ化成株式会社入社総務部長
1994年6月	ケミプロ化成株式会社取締役総務部長
2000年1月	ケミプロ化成株式会社取締役化成成品事業部長
2001年9月	ケミプロ化成株式会社取締役辞任
2003年2月	株式会社ラミーコーポレーション監査役
2019年11月	株式会社ケアシステムズ入社 医療法人社団福寿会出向総務部長（現任）

所有株式数 なし  
 特別利害関係 なし  
 重要な兼職の状況 医療法人社団福寿会総務部長

⑦ 氏名 遠山 和宏  
 (社外取締役候補者)

生年月日 1962年6月11日

略歴・地位・担当

1986年4月	株式会社富士銀行（現株式会社みずほ銀行）入行
2020年1月	株式会社ケアシステムズ入社 医療法人社団福寿会出向財務経理部長（現任）

所有株式数 なし  
 特別利害関係 なし  
 重要な兼職の状況 医療法人社団福寿会財務経理部長

## イ 提案理由

(ア) 本議案の全候補者に関連する提案理由

### ① はじめに

本議案は、ケミプロ化成株式会社（以下「ケミプロ化成」という。）の創業者であり、ケミプロ化成現代表取締役会長の福岡直彦氏の意向に基づくものであり、かつ、ケミプロ化成の株主である株式会社ケアシステムズ（持株割合約21パーセント）及び公益財団法人福岡直彦記念財団（持株割合約17パーセント）が賛同する議案である。

### ② 兼俊寿志氏、柳雅二氏及び江間清二氏がケミプロ化成の取締役として不適格であること

ケミプロ化成現代表取締役社長の兼俊寿志氏（以下、「兼俊氏」という）は、ケミプロ化成に勤務するまで金融機関の勤務経験しかなく、ケミプロ化成の属する業界に対する専門的な知見を有しない。そのようなことから、兼俊氏は、ケミプロ化成の従来事業に執着するのみで、新規事業を積極的に開拓等、将来に向けた展望をもった経営を行う能力を有しない。

柳雅二氏は、兼俊氏の推薦でケミプロ化成の取締役に就任した人物であり、兼俊氏の方針を守ることに専念するだけの人物であることから、ケミプロ化成の経営を付託する取締役として不適格である。

江間清二氏は、その経歴に照らし、ケミプロ化成の社外取締役として、その経営に有益な助言ができることは考えられない。

### ③ 本件株主提案の候補者全員が取締役に選任される必要性

本株主提案の候補者は各自、ケミプロ化成の取締役候補として十分な経験、識見、専門性を有しており、取締役として重要な意思決定に参画し、ケミプロ化成の企業価値を向上することが期待できる。

(イ) 各取締役候補者についての提案理由（社外取締役候補者については、社外取締役候補者とした理由を含む）

① 福岡直彦氏について

福岡直彦氏は、ケミプロ化成の創業者として、ケミプロ化成の発展に多大な貢献を果たした人物であり、同氏の創業者としての知見は、今後のケミプロ化成の更なる発展に必要不可欠である。

② 日置廣幸氏について

略歴のとおり、長年にわたりケミプロ化成が属する業界の役員を務めた経験と知識を有しており、適切にケミプロ化成の経営方針を定立し、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

③ 河井典生氏について

ケミプロ化成の現任取締役として業務執行を行っており、適切な経営方針が出されれば、業務執行取締役としてケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

④ 赤瀬寿氏について

ケミプロ化成の取締役として業務執行を行っており、適切な経営方針が出されれば、業務執行取締役としてケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

⑤ 寶田健太郎氏について

過去に複数社の監査役を勤めた経験及び知見により、ケミプロ化成の社外取締役として、業務執行取締役に助言等を行うことで、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

⑥ 相田昌宏氏について

過去、ケミプロ化成の取締役であった経験及び他社で社外監査役をしていた経験により、ケミプロ化成の社外取締役として、業務執行取締役に助言等を行うことで、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

⑦ 遠山和宏氏について

金融機関で勤務していた経験から、経理・財務の深い知見があるため、ケミプロ化成の社外取締役として、業務執行取締役に助言等を行うことで、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

(ウ) 非業務執行取締役候補者との責任限定契約の内容の概要

社外取締役候補者寶田健太郎氏、相田昌宏氏及び遠山和宏氏の取締役選任が承認可決された場合、各氏との間で、会社法第427条第1項に基づく責任限定契約を締結する予定である。なお、当該契約に基づく責任の限度額は、法令に定める額とする。

(2) 監査役4名選任の件

ア 議案の要領

以下の監査役候補者4名を、一括して会社の監査役として選任することを提案する。

① 氏名

清水 俊造

生年月日 1948年9月28日生

略歴・地位・担当

1998年1月 ケミプロ化成株式会社入社

2008年4月 ケミプロ化成株式会社執行役員海外事業開発部長兼秘書室長兼内部監査室長

2009年6月 ケミプロ化成株式会社監査役（現任）

所有株式数 42,000株

特別利害関係 なし

重要な兼職の状況 なし

② 氏名

常本 良治  
(社外監査役候補者)

生年月日 1950年6月23日生

略歴・地位・担当

1982年11月 新和監査法人（現有限責任あずさ監査法人）神戸事務所入所

1986年3月 公認会計士登録

2012年6月 有限責任あずさ監査法人退職

2016年6月 ケミプロ化成株式会社監査役（現任）

所有株式数 なし

特別利害関係 なし

重要な兼職の状況

社外監査役在任年数 4年（本株主総会終結時）

③ 氏名 藤田 健  
(社外監査役候補者)  
生年月日 1946年7月20日生  
略歴・地位・担当  
1981年11月 司法試験合格  
1984年4月 弁護士登録。宮崎総合法律事務所入所  
1988年4月 藤田法律事務所開設  
2016年6月 ケミプロ化成株式会社社外監査役(現任)  
所有株式数 なし  
特別利害関係 なし  
重要な兼職の状況 藤田法律事務所 弁護士  
社外監査役在任年数 4年(本株主総会終結時)

④ 氏名 橋詰 克己  
(社外監査役候補者)  
生年月日 1960年9月11日生  
略歴・地位・担当  
2010年7月 A I U保険会社(現A I U損害保険株式会社) 法務部部長  
2012年8月 ヘモネティクスジャパン合同会社執行役員法務コンプライアンスディレクター  
2016年5月 B A S Fジャパン株式会社法務・リアルエステート&ファシリティーマネジメント  
本部長(現任)  
2016年6月 ケミプロ化成株式会社社外監査役(現任)  
所有株式数 なし  
特別利害関係 なし  
重要な兼職の状況 B A S Fジャパン株式会社法務・リアルエステート&ファシリティーマネジメント  
本部長  
社外監査役在任年数 4年(本株主総会終結時)

イ 提案理由

(ア) 全候補者についての提案理由

いずれもケミプロ化成の監査役として同社の取締役の職務執行の監視を適切に行っており、監査役としてケミプロ化成内部の透明性を高め、企業価値を向上させる能力を有している。

(イ) 各監査役候補者についての提案理由(社外監査役候補者については、社外監査役候補者とした理由を含む)

① 清水俊造氏について

ケミプロ化成の監査役として同社の取締役の職務執行の監視を適切に行っており、常勤社内監査役としてケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

② 常本良治氏について

公認会計士資格を有し、会計部門において深い知見を持っており、社外監査役として適切にケミプロ化成の取締役の職務執行の監視を行い、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

③ 藤田 健氏について

弁護士資格を有し、法律において深い知見を持っており、社外監査役として適切にケミプロ化成の取締役の職務執行の監視を行い、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

④ 橋詰克己氏について

複数社の法務部で勤務していた経験を有し、社外監査役として適切にケミプロ化成の取締役の職務執行の監視を行い、ケミプロ化成の企業価値を向上させる能力を有している。

(ウ) 社外監査役候補者との責任限定契約の内容の概要

社外監査役候補者氏常本良治氏、藤田健氏及び橋詰克己氏の監査役選任が承認可決された場合、各氏との間で、会社法第427条第1項に基づく責任限定契約を締結する予定である。なお、当該契約に基づく責任の限度額は、法令に定める額とする。

以上



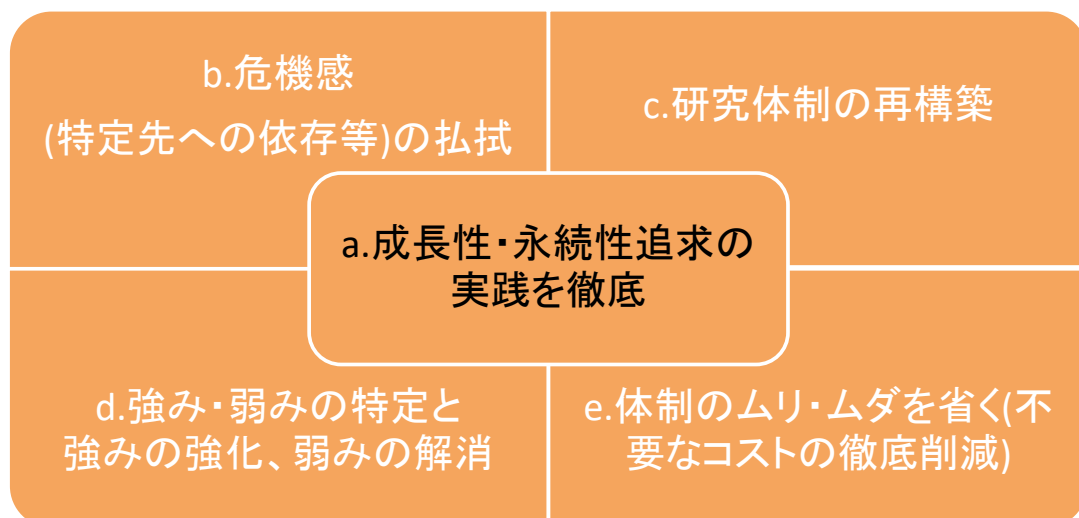
Re Born プラン [中期経営計画] ①

概要

- ・中期経営計画の位置付け(2018/3~2021/3の3ヶ年年計画)
- ・心構え:中期経営計画を必達し、リボーン(生まれ変わる)しよう!
- ①「常に未知なるものへチャレンジする姿勢」を念頭におき、すべての社員一人一人がリボーンプランとして掲げた12のタスクフォースに主体性と「変革へのチャレンジの精神」を持って実践していくこと。
- ②「危機感の払拭」「研究体制の再構築」「強み・弱みの特定と強みの強化、弱みの解消」「不要コストの徹底削減」を基盤とした成長性と持続性の追求を実践していくこと。
- ③ 目指す経営指標は「経常利益率〇%」「自己資本利益率〇%」「自己資本比率〇%」

Re Born プラン [中期経営計画] ②

12のTF(タスクフォース)の目標



## Re Born プラン〔中期経営計画〕③

## 12のTF(タスクフォース)

## ・既存統合型

	タスクフォース名	主要な目標	a.	b.	c.	d.	e.
1	NEWフロンティアR&Dタスクフォース	産・学連携体制の構築	○		○		○
2	パートナービジネス拡大タスクフォース	売上○百万円、売上総利益○百万円		○	○		
3	メインビジネス強化タスクフォース	売上○百万円、売上総利益○百万円		○			
4	プラントサステナビリティ追求タスクフォース	リスク(製造設備)の低減	○				○
5	廃水のオゾン分解処理法の確立タスクフォース	廃水処理単価の低減	○			○	
6	ケミプロピッカ美化タスクフォース	環境改善					○
7	強靱なQCA体制構築タスクフォース	力量の向上	○			○	
8	採算性向上検討タスクフォース	利益体質の改善		○		○	○
9	新規ビジネス事業性検討タスクフォース	売上○百万円、売上総利益○百万円	○			○	
10	強靱な財務基盤構築タスクフォース	ROE○%、自己資本比率○%	○				○

## ・個別発展型

	タスクフォース名	主要な目標	a.	b.	c.	d.	e.
11	NEWビジネス開発タスクフォース	売上○百万円、売上総利益○百万円		○	○	○	
12	地域密着型NEWビジネスタスクフォース	売上○百万円、売上総利益○百万円			○	○	